



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月9日

上場会社名 株式会社グローバルウェイ
 コード番号 3936 URL <https://www.globalway.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理部長
 四半期報告書提出予定日 2019年8月13日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東
 (氏名) 各務 正人
 (氏名) 吉野 裕規
 TEL 03(5441)7193

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	246	30.3	89		85		88	
2019年3月期第1四半期	354		13		9		2	

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 88百万円 (%) 2019年3月期第1四半期 2百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	75.68	
2019年3月期第1四半期	2.30	2.28

(注) 2019年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2019年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	801	211	23.0
2019年3月期	722	209	28.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 184百万円 2019年3月期 207百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		0.00	0.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,600	19.1	30		30		25		21.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(注)特定子会社の異動についての該当事項はありません。なお、当第1四半期連結会計期間において、株式会社タイムチケットを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期1Q	1,165,152 株	2019年3月期	1,163,842 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2020年3月期1Q	74 株	2019年3月期	74 株
------------	------	----------	------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期1Q	1,164,517 株	2019年3月期1Q	1,161,256 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項等については添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算説明資料の入手方法)

決算説明資料は2019年8月23日(金)に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間において、タイムチケット事業を分社化し株式会社タイムチケットを設立し、連結の範囲に含めております。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益や雇用所得環境は底堅さを維持し、緩やかな回復基調が続いております。一方、米国の通商政策に伴う貿易摩擦の影響が懸念されるなど世界経済は先行き不透明な状況が続いております。

当社グループのソーシャル・ウェブメディア事業が属するインターネット関連市場を取り巻く環境につきましては、企業の積極的な人材採用や副業解禁の流れに伴い、採用ブランディングやシェアリングビジネスへ需要が高まっております。

また、当社グループのビジネスアプリケーション事業が属するクラウド市場を取り巻く環境につきましては、企業が進める働き方改革や、AI・オムニチャネル、ブロックチェーン等デジタル変革へのIT投資によって、引き続き、当社サービスに対する需要は高まっております。

このような環境の中、当社グループの業績につきましては、ソーシャル・ウェブメディア事業では、キャリアコネ及びキャリアコネ転職の収益貢献によりセグメント利益を計上しております。ビジネスアプリケーション事業では、自社製品開発への投資及び一部契約への受注損失引当金によりセグメント損失を計上しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は246,592千円（前年同四半期比30.3%減）、営業損失は89,426千円（前年同四半期は営業利益13,164千円）、経常損失は85,580千円（前年同四半期は経常利益9,462千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は88,136千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益2,674千円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① ソーシャル・ウェブメディア事業

ソーシャル・ウェブメディア事業は、働く人のための情報プラットフォーム、キャリアコネ、キャリアコネ企業研究 Resaco、キャリアコネニュースへの訪問者数は堅調に推移しました。また、キャリアコネ転職では、採用成果報酬型の売上が期初計画どおりに推移し、前期に開始した求人広告及び採用代行サービスの営業組織強化に投資しております。シェアリング・エコノミー型サービス（注1）を展開するTimeTicket（タイムチケット）においては、ユーザー数増加及びサービス利用の活性化に重点を置いており、広告宣伝費の投資及びシステム改修を行っております。また、新たに法人向けサービスTimeTicket PROのための運営組織を構築しています。

以上の結果、ソーシャル・ウェブメディア事業の売上高は168,609千円（前年同四半期比8.0%増）、セグメント利益は9,594千円（前年同四半期比34.9%減）となりました。

② ビジネスアプリケーション事業

ビジネスアプリケーション事業は、顧客体験管理（CX）（注2）を重点領域に定め、商品体験価値を高めるPIM/DAM（注3）ソリューションContentservを販売するとともに、オムニチャネル販売管理ソリューションVoxer OMSを自社開発しています。一方で、第1四半期に締結した一部のソフトウェア開発契約で大幅な工数増加が発生したため、これらの納期変更契約を実施し受注損失引当金を計上しました。また、体制強化に向けたソフトウェア技術者の採用も継続し、採用費を計上しています。

以上の結果、ビジネスアプリケーション事業の売上高は77,982千円（前年同四半期比60.6%減）、セグメント損失は62,835千円（前年同四半期はセグメント利益40,768千円）となりました。

（注1）シェアリング・エコノミー型サービスとは、個人間で、個人が保有する遊休資産（スキルのような無形のものも含む）の貸出しを仲介するサービス。

（注2）顧客体験管理（CX）とは、カスタマーエクスペリエンスマネジメント（Customer Experience Management）の略で、顧客と企業との関係を、顧客と企業との接点において生じる一連の体験として捉えなおし、体験の質を向上させることで長期的に顧客ロイヤルティを高めようとする手法のこと。

（注3）PIMとは、Product Information Managementの略称。ECや店舗などの販売チャネルに対して、顧客属性やニーズに合わせた適切な商品コンテンツを提供するマーケティングソリューション。DAMとは、デジタルアセットマネジメント（Digital Asset Management）の略で、写真・画像・動画・音声などのコンテンツを一元管理する概念である。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産の合計は、前連結会計年度末に比べ79,610千円増加し、801,992千円となりました。これは主に現金及び預金の増加29,269千円、仕掛品の増加76,961千円、売掛金の減少85,552千円、長期前払費用の増加29,980千円、によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債の合計は、前連結会計年度末に比べ76,904千円増加し、590,020千円となりました。これは主に、前受金の増加103,377千円、受注損失引当金の増加34,500千円、未払費用の減少25,143千円、によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産の合計は、前連結会計年度末に比べ2,706千円増加し、211,972千円となりました。これは主に子会社である株式会社タイムチケットの第三者割当増資等による資本剰余金の増加64,652千円、非支配株主持分の増加25,803千円、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上88,136千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の業績見通しにつきましては、緩やかな景気回復基調の中で、求人・転職市場を取り巻く環境、クラウド市場を取り巻く環境の堅調な需要を背景に、売上高は1,600,000千円となる見込みです。また、利益面では売上の増加により、営業利益は30,000千円、経常利益30,000千円、親会社株主に帰属する当期純利益25,000千円となる見込みです。なお、2018年4月13日に開示した「スイス子会社設立及びICO実施に向けたFINMAへの申請並びに連結決算への移行に関するお知らせ」による業績に与える影響につきましては、本ICOについては、その内容は現時点では未定ですが、今後検討を進め、その内容及び実施について決議を行い、本ICOの詳細を速やかに開示する予定です。また、本ICOが当社の業績に与える影響につきましても、現時点ではその内容等が確定していないため明らかではありませんが、判明し次第、速やかに開示する予定です。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	446,238	475,508
売掛金	188,693	103,140
仕掛品	18,839	95,801
前払費用	40,781	64,145
その他	5,914	8,406
流動資産合計	700,467	747,002
固定資産		
有形固定資産	0	0
無形固定資産		
のれん	0	0
ソフトウェア	0	0
無形固定資産合計	0	0
投資その他の資産		
投資有価証券	9,724	13,020
長期前払費用	-	29,980
その他	12,189	11,989
投資その他の資産合計	21,914	54,990
固定資産合計	21,914	54,990
資産合計	722,381	801,992
負債の部		
流動負債		
買掛金	26,686	27,881
1年内返済予定の長期借入金	127,160	118,826
未払費用	106,624	81,481
未払法人税等	858	259
未払消費税等	22,290	4,066
前受金	49,146	152,523
賞与引当金	7,038	10,045
返金引当金	252	256
受注損失引当金	-	34,500
その他	55,227	60,966
流動負債合計	395,284	490,806
固定負債		
長期借入金	117,809	98,519
繰延税金負債	22	694
固定負債合計	117,831	99,213
負債合計	513,116	590,020
純資産の部		
株主資本		
資本金	90,051	90,396
資本剰余金	291,412	356,065
利益剰余金	△176,085	△264,222
自己株式	△345	△345
株主資本合計	205,032	181,893
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	2,843	2,919
その他の包括利益累計額合計	2,843	2,919
新株予約権	1,390	1,355
非支配株主持分	-	25,803
純資産合計	209,265	211,972
負債純資産合計	722,381	801,992

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	354,043	246,592
売上原価	192,354	152,312
売上総利益	161,689	94,279
販売費及び一般管理費	148,524	183,705
営業利益又は営業損失(△)	13,164	△89,426
営業外収益		
受取利息	13	-
為替差益	6,103	-
仮想通貨評価益	-	1
仮想通貨売却益	-	2,127
持分法による投資利益	-	3,255
雑収入	351	0
営業外収益合計	6,468	5,385
営業外費用		
支払利息	223	168
為替差損	-	1,370
仮想通貨評価損	854	-
持分法による投資損失	9,093	-
営業外費用合計	10,170	1,538
経常利益又は経常損失(△)	9,462	△85,580
特別利益		
新株予約権戻入益	175	35
特別利益合計	175	35
特別損失		
減損損失	254	1,659
特別損失合計	254	1,659
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	9,382	△87,205
法人税、住民税及び事業税	6,708	259
法人税等調整額	-	672
法人税等合計	6,708	931
四半期純利益又は四半期純損失(△) (内訳)	2,674	△88,136
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に 帰属する当期純損失(△)	2,674	△88,136
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△327	36
持分法適用会社に対する持分相当額	-	40
その他の包括利益合計	△327	76
四半期包括利益 (内訳)	2,346	△88,060
親会社株主に係る四半期包括利益	2,346	△88,060

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社の連結子会社である株式会社タイムチケットは、2019年6月28日に第三者割当増資を実施し、総額90,111千円の払い込みを受けました。この結果、当第1四半期連結累計期間において、資本剰余金が64,307千円増加したと、親会社である株式会社グローバルウェイの新株の発行による345千円の増加と合わせて、当第1四半期連結会計期間末において資本剰余金が356,065千円となっています。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第1四半期連結累計期間において、タイムチケット事業を分社化し株式会社タイムチケットを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ソーシャル・ウ ェブメディア事 業	ビジネスアプリ ケーション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	156,182	197,861	354,043	-	354,043
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	156,182	197,861	354,043	-	354,043
セグメント利益	14,741	40,768	55,509	△42,345	13,164

(注) 1. セグメント利益の調整額△42,345千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ソーシャル・ウ ェブメディア事 業	ビジネスアプリ ケーション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	168,609	77,982	246,592	-	246,592
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	168,609	77,982	246,592	-	246,592
セグメント利益又はセグメン ト損失(△)	9,594	△62,835	△53,241	△36,184	△89,426

- (注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△36,184千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。
- 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
報告セグメントに帰属しない全社費用として固定資産の減損損失を計上しております。なお当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において、1,659千円であります。